

子宮頸がん征圧をめざす
専門家会議

Annual Report 2013

CONTENTS

2013年度 総括	1
2013年度 活動一覧	2
国、自治体、議員、健康指導者、メディアへの情報提供	3
啓発ウェブサイト作成と医療専門家向け情報提供	9
若年女性への啓発・情報提供	10
シンポジウムなどによる一般市民への情報提供	10

2013年度 総括

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議(以下当会議)は2008年11月設立以来、
検診とワクチンの普及を目標に掲げ活動を展開している。

【目標】 * 2012年度より変更

1. より精度が高く費用対効果にすぐれた子宮頸がん検診(細胞診+HPV検査)を確立し、検診受診率50%以上をめざします。
2. HPVワクチンの公費負担年齢における接種率向上と、キャッチアップ世代へのワクチン接種を推進します。

2009年はHPV予防ワクチンの正式承認を獲得し、2010年は検診受診率向上、ワクチン公費負担の実現に向けて、他の啓発団体と連携しながら政府への提言を活発におこなった。

2011年はワクチンの公費負担が実現した、ワクチンについての理解を深めていただくため、セミナーやウェブ、広告などを通して正しい情報提供につとめた。また、継続審議になっている子宮頸がん予防法案の実現に向けての提言や、企業との連携キャンペーンにも注力した。予防活動奨励賞を創設し、募集を行った。

2012年は、予防活動奨励賞の表彰の実施、要望書による提言活動、5回目の自治体アンケート、自治体・議員向けセミナーにより成功事例を広める活動を展開。一般公募ポスターによる若い女性への啓発、養護教諭を通じた保護者へのよびかけ、医療者と啓発団体との交流の機会となる日本版WACCの初開催のほか、啓発資材や情報を活用しやすくするためホームページをリニューアルした。併用検診の医療経済についての検討も開始した。

2013年は、3月の予防接種法改正により、HPVワクチンが定期接種となった。しかし、同じく3月より副反応に関する問題がメディアで大きく取り上げられるようになり、厚労省は6月14日、ワクチン接種の積極的勧奨の一時差し控えを発表した。それに対し、当会議では専門家として、声明、接種を継続すべきか悩む人へのアドバイスや、国際的保健機関の声明を日本語版で紹介するなど、科学的に正しい情報提供に尽力した。また、ワクチンの意義、効果、安全性を伝えるためのセミナー開催やウェブサイトの作成を行った。

一方、2012年度より継続していた検診受診率とワクチン接種率向上のための自治体セミナーに加え、HPV併用検診推進サポートのための自治体向けセミナーを厚労省の後援のもと、開催した。

現在まだHPVワクチンの積極的勧奨は再開されていないが、その早期再開と、安心して接種を受けられる環境づくりをめざし、数多くの団体と連携をとりながら、国やメディアに向けて積極的に情報提供を行っている。専門家の団体として当会議への期待は大きく、今後も果たすべき役割は大きい。

2013年度 活動一覧		
1月	[WACC in Japan]がWACCのニュースレターで全世界に紹介	2012年10月に開催した初の日本版WACC「Women Against Cervical Cancer in Japan ランチオンワークショップ」の様子が、WACCのニュースレターに掲載され、全世界で紹介された。
2月7日・4月	第2回子宮頸がん予防活動奨励賞表彰式開催。冊子作成・配布	子宮頸がん予防で成果をあげる活動を行った団体・個人に対しての賞の2回目を実施。特別審査員のアグネス・チャンさんをお迎えして表彰式を開催。事例をまとめた冊子を全自治体に送付した。
3月	女性の健康週間での啓発の協力	全国で展開する女性の健康週間の、子宮頸がん情報のフォローを行う。
3月	養護教諭との共同制作パンフレットの作成案内	全国養護教諭連絡協議会と共同で保護者・中高生向けパンフを作成し、養護教諭に配付した。
3月12日	『予防接種法の一部改正における対象疾病名を「ヒトパピローマウイルス感染症」から正しい用語である「子宮頸がん」に修正いただく要望書』提出	予防接種法の記載(子宮頸がん予防の言葉が入っていないこと)に関して、厚労大臣や厚労省に対して要望書を提出した。都道府県への通達に、「子宮頸がん予防」の記載が掲載された。
3月18日	公明党厚生労働部会にてワクチン勉強会を開催	「公明党厚生労働部会・女性委員会・がん対策推進本部合同会議」に出席し、ワクチンの副反応などについて専門家として意見を述べた。
3月18日	「予防接種法改正における子宮頸がん予防ワクチン」記者懇談会	3月12日に提出した要望書の趣旨、ワクチンの重要性和子宮頸がん予防推進につながる予防接種法のありかた、安全性等を伝えるための記者懇談会を開催、メディアなど約30名が参加した。
4月3日	「子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)適正接種の促進に関する考え方」発信	国内の重要なオピニオンリーダーである8団体が、ワクチンの安全性についての共同メッセージを発信。全国会議員、全自治体、厚生労働記者クラブ、メディア等に対してリリースした。
4月・8月	「これからの子宮頸がん予防対策、成功事例に学ぶ」セミナー	行政の子宮頸がん予防の担当者を対象に、全国10か所で開催した。
4月18日	子宮頸がん予防ワクチン(HPV ワクチン)副反応報道についての見解発表	一部のマスコミ報道による「子宮頸がん予防ワクチン副反応」に関して、子宮頸がん征圧をめざす専門家会議としての見解を発表した。
5月中心	検診呼びかけ「母の日カード」の配付	幼稚園児などからお母さんに渡す子宮頸がん予防のメッセージ付きの配付した。
5月9～23日	厚生労働省後援「子宮頸がんHPV併用検診推進サポートセミナー」	厚生労働省後援の下、公益財団法人日本対がん協会と共催で、HPV併用検診導入の意味、医学的なエビデンス、実施のポイント等について解説するセミナーを全国6か所で開催した。
5月22日	セミナー「ワクチンについてよく知ろう」～予防接種法改訂に際して	ワクチンの効果や安全性について理解を深めていただくため、正しい知識と理解のためのセミナーを開催。自治体担当者、議員、医療関係者、啓発団体、メディアなど約130名が参加した。
6月20日	「子宮頸がん予防ワクチンの積極的接種勧奨の差し控えについて」声明	6月14日の厚生労働省の検討会後、子宮頸がん予防ワクチンの積極的接種勧奨が差し控えとなったことを受けて、専門家会議としてワクチンの安全性についての声明を発表した。
6月25日	「子宮頸がん予防ワクチンの接種について悩まれている方への具体的アドバイス」	ワクチンの接種について、今後どうしようかと悩まれている方への具体的アドバイスを発信した。
6月25日	「CDCからのHPVワクチン接種4年後のHPV感染率減少の報告」紹介	CDC(米国疾病予防センター)からの「HPVワクチン接種4年後のHPV感染率減少の報告」を紹介した。
7月5日	WHO公式声明「HPVワクチンに関するGACVSの安全性最新情報」日本語訳配布	WHOの子宮頸がんワクチンについての公式声明を日本語に翻訳し、メディア等にリリースした。
8月1日	ウェブサイトにワクチンQ&A開設	ウェブサイトに、ワクチンについてよく聞かれる疑問についてのQ&Aを掲載した。
8月31日	「HPVワクチンの安全性-FIGO(国際産科婦人科連合)声明」の日本語訳配布	実行委員長がFIGO等海外の団体、専門家に対して働きかけを実施。FIGOが発表した声明を翻訳しメディア等にリリースした。
9月3日	予防啓発団体を集めたワークショップ開催	ワクチンについて、今何を、どう伝えるか、共通の認識を持つための緊急ワークショップを開催した。
8～10月	第6回 自治体アンケート調査実施	24年度の子宮頸がん検診クーポンの最終利用、ワクチン接種状況についての自治体調査を実施。
11月3～6日	EUROGIN2013&2013WACC Forum参加、WACC Japanでの報告とディスカッション	EUROGINとWACCのフォーラム(フィレンツェで開催)に、子宮頸がん啓発団体、メディアとともに参加。WACC Japan のセッションでは日本の状況の報告とディスカッションを行った。
11月・12月	世界の専門家からのメッセージを発信	世界の子宮頸がん予防の専門家から日本へのメッセージを集め、発信した。
12月11日	公明党への要望書提出	ワクチンの積極的勧奨の早期再開 有害事象に対する補償の拡充と情報提供に関する要望書と、検診無料クーポンの継続を求める要望書を9団体連盟で提出した。
12月11日	メディアラウンドテーブルを開催	より正確な記事のために、少数のメディアと医師との意見交換のラウンドテーブルを開催した。
12月26日	4団体声明「子宮頸がん予防HPVワクチン接種の接種勧奨差控え延長について」	12月25日の厚生労働省の副反応検討会では、接種再開に関する討議の時間が不足し、結論が持ち越された。これを受けて、ワクチンの接種勧奨が再開されることを希望する共同声明を発表した。
10～12月	ワクチンの有用性に関する説明用素材	子宮頸がん予防ワクチンの有用性に関する議員などへの説明用の素材を作成した。
10～12月	影響力のある団体、個人、政策決定に直接関わる政党、専門家等への働きかけ	影響力のある団体、個人に、ワクチンについての正しい情報を提供しセミナー開催などを働きかけた。政策決定に直接関わる政党、議員、専門家等に対し、情報提供を行った。
通年	日本語版Eラーニングの提供	ザビエル・ポッシュ博士によるEラーニングの日本語版を作成の準備を行った。
通年	横浜神奈川など地域連携プロジェクト	地域との共同活動として、横浜神奈川のプロジェクトとタイアップ活動を行った。
通年	子宮頸がん征圧企業連携(ACT)プロジェクト	企業、健保、大学へのワクチン接種と検診受診を引き続き推進する。参加費は無料とし拡大を図る。
通年	併用検診の医療経済についての検討	併用検診の医療経済に関しての検討の研究委託と発表を行う。
通年	医療者向け共用スライドの提供	子宮頸がん情報を整理し、最新かつ高度な情報を共有するためのスライドを作成し、医療者が講演等で使用できるよう提供した。
通年	サイトによる情報提供	一般向けに、子宮頸がんに関する最新情報を随時提供。声明や動画を提供した。
通年	プレスへの情報提供、取材・監修協力	メディア、企業、団体等の依頼に応じて取材・監修等の協力をを行う。
通年	講師派遣、後援、他団体への協力	団体、大学、健保、イベントなどの依頼に応じて講師派遣、後援、サポートを行う。

国、自治体、議員、健康指導者、メディアへの情報提供

検診受診率向上、ワクチン接種促進に向けて、行政、議員、健康指導者、メディアに向けての情報提供を活発に実施。

1. 提言

『予防接種法の一部改正における対象疾病名を「ヒトパピローマウイルス感染症」から正しい用語である「子宮頸がん」に修正いただく要望書』提出

「子宮頸がん予防ワクチン」を定期接種とする改正案が国会提出されているが、「子宮頸がん予防ワクチン」の対象疾病名が「ヒトパピローマウイルス感染症」と記載されていることについて、その修正についての要望書を、子宮頸がん征圧をめざす専門家会議、公益社団法人日本産科婦人科学会、公益社団法人日本産婦人科医会、公益財団法人日本対がん協会は、厚生労働大臣 田村 憲久氏、厚生労働副大臣 秋葉 賢也氏、榎屋 敬悟氏、厚生労働委員会 委員長 松本 純氏、厚生労働委員会 理事 古屋 範子氏、厚生労働省健康局 結核感染症課長 正林 督章氏宛てに提出。都道府県への通達に、「子宮頸がん予防」の記載が掲載された。

■日時：2013年3月12日(火)

■場所：厚生労働省

■活動委員・・・議長：野田起一郎、実行委員長：今野 良、実行委員：鈴木光明

「子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)適正接種の促進に関する考え方」共同メッセージ発信

改正予防接種法の成立を受け、今後も子宮頸がん予防ワクチンの適正接種が推進されることを願い、国内の重要なオピニオンリーダーである8団体が、ワクチンの安全性についての共同メッセージを発信。全国会議員、全自治体、厚生労働記者クラブ、メディア等に対してリリースした。

■日時：2013年4月3日(水)

■活動委員・・・議長：野田起一郎、実行委員長：今野 良

子宮頸がん予防ワクチン(HPV ワクチン)副反応報道についての見解発表

一部のマスコミ報道による「子宮頸がん予防ワクチン副反応」に関して、子宮頸がん征圧をめざす専門家会議としての見解を発表。

■日時：2013年4月18日(木)

■活動委員・・・議長：野田起一郎、実行委員長：今野 良

ワクチンの安全性を啓発する活動

6月14日の厚生労働省の検討会後、子宮頸がん予防ワクチンの積極的接種勧奨が差し控えとなったことを受けて、ワクチンの安全性についての声明を発表。WHOの声明等を日本語に翻訳し、メディア等にリリースした。実行委員長がFIGO等海外の団体、専門家に対して働きかけを実施。FIGOの声明を翻訳しメディア等にリリースした。

6月20日(木) 「子宮頸がん予防ワクチンの積極的接種勧奨の差し控えについて」

6月20日(木) 「子宮頸がん予防ワクチンの接種について悩まれている方への具体的アドバイス」

6月25日(火) 「CDC(米国疾病予防センター)からのHPVワクチン接種4年後のHPV感染率減少の報告」

7月5日(金) WHOの公式声明「HPVワクチンに関するGACVSの安全性最新情報」の日本語訳配布

8月31日(土) 「HPVワクチンの安全性:FIGO(国際産科婦人科連合)声明」の日本語訳配布

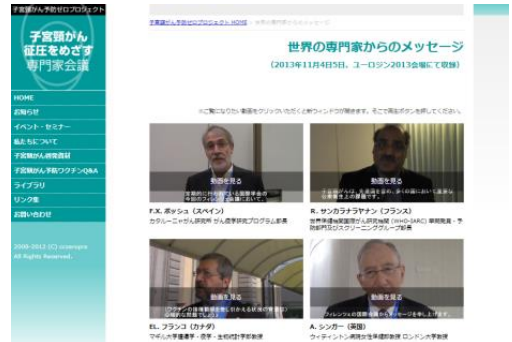
■活動委員・・・議長：野田 起一郎、実行委員長：今野 良

世界の専門家からのメッセージを発信

世界の子宮頸がん予防の専門家から寄せられた日本へのメッセージを、書面やビデオで発信した。セミナーなどでも紹介し、世界における子宮頸がん予防の重要性、ワクチンへの信頼を伝える一助とした。

■日時：2013年11月・12月

■活動委員・・・実行委員長：今野 良



公明党への要望書「子宮頸がん予防ワクチン定期接種積極的勧奨の早期再開 およびワクチン有害事象に対する補償の拡充と情報提供に関して、ご協力をお願い」、「がん検診推進事業における子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン事業に関して、ご協力をお願い」を提出。

公明党代表 山口那津男氏に、子宮頸がん予防ワクチンの副反応に関する調査結果を速やかに公表し、定期接種の積極的勧奨の早期再開と、すべてのワクチン接種の有害事象に対する補償制度の拡充や、国民にわかりやすい形での情報提供を希望する要望書を、9団体連名で提出した。

* 9団体：公益社団法人日本産科婦人科学会、子宮頸がん征圧をめざす専門家会議、特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の会、一般社団法人シンクパール、一般社団法人 Stand for mothers、一般社団法人リボンムーブメント、卵巣がん・子宮がん患者による患者のためのサポートグループ＊らんきゅう＊卵宮、山梨まんまくらぶ、沖縄県婦人科がん患者会 宇宙船子宮号

また、検診無料クーポンの縮小に対して、「がん検診推進事業における子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン事業に関する要望書を作成し、同じく公明党代表あてに提出した。

■日時：2013年12月11日(水)

■活動委員・・・議長：野田起一郎、実行委員長：今野 良

4団体声明「子宮頸がん予防HPVワクチン接種の接種勧奨差控え延長について」発表

12月25日の厚生労働省の副反応検討会では、接種再開に関する討議の時間が不足し、結論が持ち越された。これを受けて、公益社団法人日本産科婦人科学会、公益社団法人日本産婦人科医会、公益社団法人日本婦人科腫瘍学会、子宮頸がん征圧をめざす専門家会議の4団体が、ワクチンの接種勧奨が再開されることを希望する共同声明を発表。記者クラブ、メディアにリリースを配布した。

■日時：2013年12月26日(木)

■活動委員・・・議長：野田起一郎、実行委員長：今野 良

■子宮頸がんワクチンで声明
子宮頸がんワクチン接種後に長期的な痛みを訴える人が相次ぎ、国が接種の推奨を中止している問題で、日本産科婦人科学会（日産婦）など4団体は26日、一刻も早い推奨の再開を求める声明を出した。このワクチンは世界各国で使われており、「十数年後には日本だけ子宮頸がんの患者が多い国になる可能性がある」と危機感を表明した。

朝日新聞に掲載 12月28日

2. 調査

第6回 自治体アンケート調査

平成24年度の子宮頸がん検診クーポンの最終利用状況、子宮頸がん予防HPVワクチン接種状況についての自治体アンケート調査を実施した。

今回は、厚労省がワクチンの「積極的勧奨中止」を発表した後の状況についての質問も追加し、現状の把握に努めた。

- 調査時期: 2013年8月～10月
- 調査対象: 全国1742自治体
- 回収状況: 有効回収数 1393自治体(回収率 80.0%)
- 活動委員・・・実行委員長: 今野 良、実行委員: 鈴木光明

3. セミナー、啓発

第2回子宮頸がん予防活動奨励賞 表彰式

子宮頸がん予防に取り組み、成果をあげた団体・個人を表彰、その成功のポイントを広く公開し、今後の啓発活動に活用してもらうため、2011年に『子宮頸がん予防活動奨励賞』を創設。

2012年は第2回の募集を行い、自薦・他薦を含めた10件の応募の中から、8件の表彰を決定。特別審査員のアグネス・チャンさん(日本対がん協会ほほえみ大使)をお迎えして2013年2月7日(木)表彰式を開催、受賞団体や議員、メディアなど約60名が参加した第3回は、2014年2月25日(火)に実施する。

- 日時: 2013年2月7日(木)14:00～15:30
- 会場: 東海大学校友会館(東京・霞が関)
- 活動委員・・・議長: 野田起一郎、実行委員長: 今野 良、実行委員: 今村定臣、宇田川康博、委員: 阿曾沼元博、衛藤 隆、小西 宏、中板育美、宮城悦子、
- 参加人数・・・約60名



[WACC in Japan]がWACCのニュースレターで全世界に紹介

2012年10月に開催した、初の日本版WACC「Women Against Cervical Cancer in Japan ランチョンワークショップ」の様子が、WACCのニュースレターに掲載され、全世界で紹介された。

- 日時: 2013年1月
- 活動委員・・・実行委員長: 今野 良
委員: 小西 宏、河村裕美、シャロン・ハンリー
宮城悦子



Program	
11:00	① Updated information on the U.S. Recommendations for Cervical Cancer Screening
11:00	② Administration among scientific societies, regional governments, screening organizations and health insurance groups involved in cervical screening
12:00	③ Lunch
12:30	④ "Screening Screening" - Introduction to CC screening (20 min. lecture)
13:00	⑤ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
13:30	⑥ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
14:00	⑦ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
14:30	⑧ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
15:00	⑨ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
15:30	⑩ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
16:00	⑪ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
16:30	⑫ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
17:00	⑬ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
17:30	⑭ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
18:00	⑮ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
18:30	⑯ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
19:00	⑰ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
19:30	⑱ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
20:00	⑲ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
20:30	⑳ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
21:00	㉑ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
21:30	㉒ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
22:00	㉓ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
22:30	㉔ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
23:00	㉕ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
23:30	㉖ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
24:00	㉗ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
24:30	㉘ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
25:00	㉙ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
25:30	㉚ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
26:00	㉛ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
26:30	㉜ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
27:00	㉝ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
27:30	㉞ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
28:00	㉟ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
28:30	㊱ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
29:00	㊲ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
29:30	㊳ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
30:00	㊴ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
30:30	㊵ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
31:00	㊶ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
31:30	㊷ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
32:00	㊸ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
32:30	㊹ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
33:00	㊺ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
33:30	㊻ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
34:00	㊼ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
34:30	㊽ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
35:00	㊾ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)
35:30	㊿ WACC in Japan Luncheon Workshop (20 min. lecture)

公明党厚生労働部会にてワクチン勉強会を開催

3月18日の「公明党厚生労働部会・女性委員会・がん対策推進本部合同会議」に、子宮頸がん征圧をめざす専門家会議実行委員長・今野 良、公益社団法人日本産婦人科医会・鈴木 光明(当会議実行委員)が出席し、ワクチンの副反応などについて、専門家として意見を述べた。

また、関連団体とともに3月12日に提出した『予防接種法の一部改正における対象疾病名を「ヒトパピローマウイルス感染症」から正しい用語である「子宮頸がん」に修正いただく要望書』の趣旨を説明し、医学的に正しく国民にとってわかりやすい表記への修正を要望した。賛同団体も、それぞれの立場から意見を述べた。



■日時 : 2013年3月18日(月)17:00~18:00

■場所 : 参議院議員会館1F 102会議室

■活動委員・・・実行委員長:今野 良、実行委員:鈴木光明

■出席者・・・渡辺孝男(厚生労働部会 部会長)、古屋範子(女性委員会 女性委員長)、松 あきら(がん対策推進本部 本部長)、他公明党議員数名、難波江功二(厚生労働省 結核感染症課課長補佐)、俵木登美子(医薬品食品局安全対策課長)、黒羽真吾(課長補佐)、井上隆弘(課長補佐)、他公明党議員秘書、公明新聞記者など

「予防接種法改正における子宮頸がん予防ワクチン」記者懇談会

「子宮頸がん予防ワクチン」を定期接種とする今回の改正法案について、3月12日に当会議など4団体による要望書を厚生労働大臣等に提出している。この要望書の趣旨、公衆衛生のためのワクチンの重要性と子宮頸がん予防推進につながる予防接種法のありかた、ワクチンの安全性等を伝えるための記者懇談会を開催、メディアなど約30名が参加した。



■日時 : 2013年3月18日(月)18:00~19:00

■場所 : 参議院議員会館1F 102会議室

■活動委員・・・実行委員長:今野 良、実行委員:鈴木光明

■参加人数・・・32名(メディア:14名、その他:7名、関係者:11名)

セミナー「ワクチンについてよく知ろう」

予防接種法改訂に際して～疾病・効果・副反応に関する正しい理解を～

2013年3月の予防接種法の改正により、子宮頸がん予防HPVワクチンが、ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンとともに定期接種となった。この機会に改めてワクチンの効果や安全性について理解を深めていただくため、正しい知識と理解のためのセミナーを開催。自治体担当者、議員、医療関係者、啓発団体、メディアなど約150名が参加し、質疑応答には多くの質問が寄せられた。



■日時 : 2013年5月22日(水)17:00~20:15

■場所 : ステーションコンファレンス東京

■活動委員・・・議長:野田 起一郎、実行委員長:今野 良、実行委員:今村定臣、鈴木光明、野々山 恵章、顧問:高久史麿、委員:岡田賢司、岡部信彦、上坊敏子、シャロン・ハンリー

■参加人数・・・150名(自治体担当者:30名、メディア:57名、議員:12名、医療関係者:14名、啓発団体:16名、その他:6名、関係者:15名)

子宮頸がん予防啓発団体を集めたワークショップを開催

厚労省が「積極的勧奨中止」を発表した後のワクチンが置かれている状況を見つめなおし、それぞれの団体が遭遇している状況、どのようなことに困っているのかを共有し、ワクチンについて、今何を、どう伝えるか、共通の認識を持つことを目的として、NPO法人子宮頸がんを考える市民の会と子宮頸がん征圧をめざす専門家会議の共同主催にて緊急ワークショップを開催。子宮頸がん予防啓発に携わる5団体、24名が参加した。

- 日時: 2013年9月3日(火) 17:00~19:00
- 会場: 都内会議室
- 活動委員・・・議長:野田 起一郎、実行委員長:今野 良
- 参加団体・・・ラサーナ、リボンムーブメント、よつばの会、Stand for mothers、ティール&ホワイトリボンプロジェクト



EUROGIN 2013 & 2013WACC Forum 参加・取材ツアー

子宮頸がんに関する最新の知見と啓発の状況、世界のさまざまな啓発へのアイデアなどに触れ、今後の日本での啓発活動に活かすため、2010年より世界最大の子宮頸がん学会・EUROGINと子宮頸がん啓発を推進する国際会議・WACC(Women Against Cervical Cancer)のフォーラムに参加。WACCで当会議の活動を発表し、現在の日本の状況についてディスカッションを行った。メディアと啓発団体をアテンドし、世界の状況、世界の専門家の意見が記事となった。

- 日時: 2013年11月3日(日)~6日(水)
- 会場: フィレンツェ(イタリア)
- 活動協力・・・実行委員長:今野 良(企画・事前説明会)
委員: シャロン・ハンリー、宮城悦子
- 参加者・・・生井茜(女子大生リボンムーブメント)



子宮頸がん予防ワクチンの有用性に関する議員等への一般説明用の素材を作成

子宮頸がん予防ワクチンの有用性に関する議員等への説明用の素材を作成した。

- 活動委員・・・実行委員長:今野 良

子宮頸がん予防ワクチンの
「リスク」と「ベネフィット」

「子宮頸がんHPV併用検診推進サポートセミナー」

厚生労働省はHPV検査の検証のため、平成25年度予算案に一部の市区町村において30、35、40歳を対象にHPV検査を実施するための費用を盛り込んでいる。厚生労働省の後援の下、公益財団法人日本対がん協会と共催で、HPV併用検診導入の意味、医学的なエビデンス、実施のポイント等について解説する「子宮頸がんHPV併用検診推進サポートセミナー」を全国6か所で開催した。

場所	開催日	会場	参加人数
札幌	5月9日(木)	ACU	49
仙台	5月14日(火)	仙台市市民活動サポートセンター	60
東京	5月15日(水)	ステーションコンファレンス東京	121
大阪	5月23日(木)	ティーオージー	69
岡山	5月16日(木)	岡山国際交流センター	39
福岡	5月17日(金)	福岡朝日ビル	71

■講師: 実行委員長 今野 良
委員: 小西 宏

■活動委員

・議長: 野田起一郎(札幌、仙台、東京、大阪)
実行委員: 嘉村敏治(福岡)

■参加人数・・・計406名



「これからの子宮頸がん予防対策、成功事例に学ぶ」セミナー

行政の子宮頸がん予防の担当者を対象に、全国10か所で勉強会を開催。子宮頸がん予防に関する自治体調査をもとに、HPVワクチン最近の動向、HPV併用検診早期導入の意義について説明。8月のセミナーでは、科学的根拠に基づき、被接種者・接種希望者そして保護者へ対応ができるよう、正しい情報を提供していった。

■活動委員・・・実行委員長: 今野 良、実行委員: 鈴木光明、委員: 岩成 治、宮城悦子

■参加人数・・・計 242名

場所	日	会場	参加人数
大分	4月15日(月)	iichiko総合文化センター	22
静岡	4月16日(火)	静岡県産業経済会館	53
福島	4月16日(火)	福島テルサ	21
東京	8月1日(木)	人事労務会館	23
大阪	8月2日(金)	新大阪丸ビル別館	31
広島	8月2日(金)	RCC文化センター	11
新潟	8月8日(木)	新潟東急イン	10
岐阜	8月9日(金)	じゅうろくプラザ	12
神奈川	8月22日(木)	日石横浜ビル	36
滋賀	8月23日(金)	ピアザ淡海	23



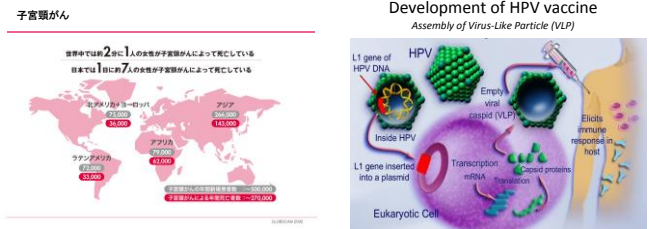
啓発ウェブサイト作成と医療専門家向け情報提供

子宮頸がんに関する情報の提供をサイトで行い、データをダウンロードし活用できるようにしている。

医療者向け共用スライドの作成・サイトでの提供

医療者に講演等で使用してもらうため、子宮頸がんについての情報を整理したスライドを作成した。月に数件の申込がある。

■監修協力・・・実行委員長：今野 良、委員：平井康夫



ウェブサイトでの情報提供～ワクチンQ&Aページ開設

ウェブサイトでは、医療者や行政の保健福祉担当者などに向けて実施した、子宮頸がんに関するエキスパートによるセミナーの動画配信など、専門家への最新情報の提供を行う。当会議の実行委員・委員が講師を務める子宮頸がん予防に関するセミナーなどの開催情報も提供。

2013年は、ワクチンQ&Aページを開設。世界の専門家からのメッセージの動画なども掲載した。

■2013年8月ワクチンQ&Aページを追加

■活動委員・・・実行委員長：今野 良
実行委員：鈴木光明、野々山恵章
委員：上坊敏子、シャロン・ハンリー

■12月世界の専門家動画を追加

■活動委員・・・実行委員長：今野 良

一般女性向けウェブサイト「子宮頸がん講座」での情報提供

一般女性に子宮頸がんに関する基礎知識を提供するため「子宮頸がん講座」を携帯とウェブで展開している。役員が関係する一般向けのセミナー、イベント情報も随時掲載している。

■監修協力・・・委員：小田瑞恵、相良洋子

若年女性への啓発・情報提供

団体、若年女性を顧客とする企業などとタイアップし、若い女性に向けて検診とワクチン接種を啓発している。

横浜・神奈川子宮頸がん予防プロジェクトタイアップキャンペーン

宮城委員が中心となって実施している「横浜・神奈川子宮頸がん予防プロジェクト」とタイアップし、横浜・神奈川の検診率アップ、及びワクチン接種率を高める活動を行っている。

検診やワクチンを啓発するポスターを希望者に配布、自治体イベント、企業、大学などで活用されている。



三重県鈴鹿市



高知大学保健管理センター：春の健康診断時、学生を対象に子宮頸がん検診、ワクチン接種を奨励



名鉄百貨店：社内に掲示し、全女子従業員に子宮頸がん検診受診の啓発を行う

また、「横浜・神奈川子宮頸がん予防プロジェクトサポーターズ」が2012年度より発足。横浜市を中心として神奈川県内でポスター・リーフレット設置等の誘致活動やイベントでの啓発、インターネット・SNSを活用したPR活動を継続して実施。サイトでは、検診・ワクチン接種を受けた方が提携店でサービスが受けられる共通クーポンを発行した。

■活動委員・・・委員：宮城悦子



幼稚園・保育園での「子宮頸がん検診よびかけ母の日キャンペーン」

2010年より毎年、母の日に子どもから大好きなお母さんに子宮頸がん予防のメッセージをつけたカードを渡すキャンペーンを実施。幼稚園、保育園、小学校等で配布している。

- 4月5月を中心に、通年配布
- カード／イラスト：藤本四郎
- 監修協力・・・実行委員長：今野 良



その他一般市民への情報提供

一般市民の啓発のために、市民向けイベント、講座などを後援。媒体への取材協力、講師紹介などを実施した。